

2024.2.11(日)～12(月) 中野市西部公民館にて

主催 NPO法人 楽知ん研究所

親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座 《磁石》通信



磁極が片面にしかない

(滝沢昭子さん)

シート状のゴム磁石の極が片方の面にしかないというのが、びっくりでした。じきたんカードとNSたんち棒、すごい!!

実際にやってみる

(齊藤明子さん)

やってみよう!が多くて自分たちで実際にやってみる時間は楽しい。予想通りだと嬉しいし、予想と違っていてもなるほど〜と思える時が良い。

感想文の共有

みなさんの感想を紹介して、「通信」で共有していきます。

いっしょに講座を受けたみなさんが、どんなふうに思ったり、考えたり感じたりしているかを読むことで、自分のノーミソだけでなく、他人のノーミソも使って考えて、たのしむことができます。

みなさんの感想

1 コマ目 2月11日午前
じきたんカードおもしろい

(齊藤明子さん)

磁石 ○□U のと色々使えたのは楽しかったです。じきたんカードは面白かったです。おさいふに入れておきます。ストローの動きを見るのも面白かったです。

だんだんはなれて

(齊藤楓さん小4)

SとNがだんだんはなれていっておもしろかった。(かんかくがおもしろい)

びっくり

(さいとうくにおみくん小1)

びっくり



たのしかった

(たきざわつなぎくん小1)

たのしかった。

〈磁石〉1コマ目のたのしさは

5	とてもたのしかった	2人
4	たのしかった	3人
3	どちらでもない	0人
2	つまらなかった	0人
1	とてもつまらなかった	0人

2コマ目 2月11日午後

分子磁石の話

あおむしくんが

(齊藤楓さん小4)

すこしねむくなっけど、じしゃくアオムシが面白かった。カッカカッ



びっくり

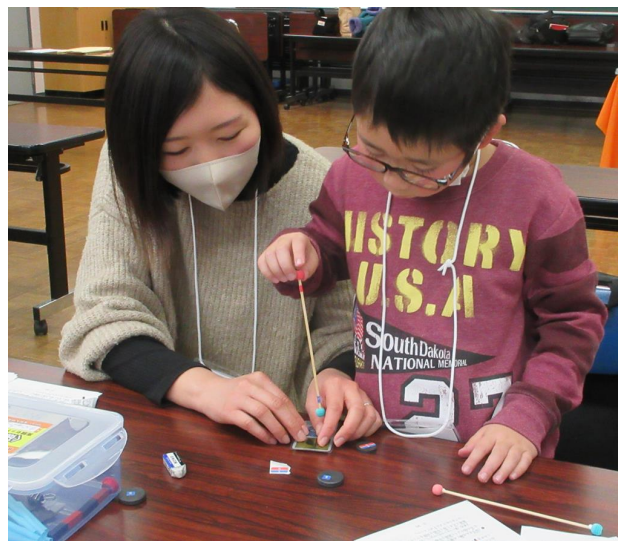
(さいとうくにおみくん小1)

びっくりメッチャ。バツン。

鉄が磁石に

(滝沢昭子さん)

鉄が磁石になるのがおどろきでした。



つかれた

(たきざわつむぎくん小1)

つかれた。

＜磁石＞2コマ目のたのしさは

5	とてもたのしかった	1人
4	たのしかった	2人
3	どちらでもない	1人
2	つまらなかった	0人
1	とてもつまらなかった	1人

【今後の予定】

●大道仮説実験講座《びりりん》

3月3日(日) 中野市西部公民館

【講師からのメッセージ】

〈自分の脳ミソ〉で考えれば、必ず間違えます。間違えることなしに新しい問題を解決することはできません。

板倉さんは次のように言っています。

ルネッサンスというのは「自分の大事さを知る」という意味がありました。中世の時代には、「制度の中に自分をあわせていく」ということに価値があったのに対して、「自分というものを生かして制度を直していく」という営みがルネッサンスであった。今までの学問は「これを教えなかったら今の制度に適應できない」ということだったけれども、これからは「教えると時代おくれになる」というように発想を転換しなきゃならない。

板倉聖宣講演 1972年4月22日

楽知ん研究所は、仮説実験授業をみんなのものにする(仮説実験授業の大衆化)事業を行っています。

＜仮説実験＞の心得

■自分の脳ミソを使って考える。

自分で予想・仮説を立てるときは自分のノミソで考えています。

■他人のノミソも使って考える。

予想を立てるとその結果が心配になって、その問題について他人の意見を聞いてみたくなります。いろいろな考えを知って、自分の予想・仮説を検討しなおすことができるようになるのです。

■先人のノミソも使って考える。

すでに亡くなった先人の本を読むことも他人のノミソを使うひとつの方法です。この講座の紙芝居は先人のノミソを使って考えてもらうためのものです。

発行日 2024年2月11日

発行者 渡辺規夫

NPO法人楽知ん研究所運営会員

仮説実験授業研究会会員

科学史学会会員

上田市諏訪形1214-5

電話090-4960-6859

メール watanabe@luctin.org

スタッフ 遠藤裕、田中浩寿

講座情報は楽知ん研究所のホームページ

<https://luctin.org/>をごらんください。